



平成 18 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 7 日

会 社 名 エスケー化研株式会社 (J A S D A Q ・ コード番号 : 4 6 2 8)
(U R L <http://www.sk-kaken.co.jp/>)

代表者役職名 代表取締役社長
氏 名 藤 井 實
問い合わせ先
責任者役職名 取締役経理部長
氏 名 廣 瀬 勝 義 (Tel : (072) 621-7720)

1 . 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識
の方法との相違の有無 : 無

2 . 平成 18 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

(1) 売上高

(注) 単位未満の端数は切捨てて表示しております。

	百万円	%
18 年 3 月期第 3 四半期	37,435	(6.8)
17 年 3 月期第 3 四半期	35,039	(3.8)
(参考) 17 年 3 月期	46,345	(3.0)

(注) 1 . 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

2 . パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

[売上高に関する補足説明]

当第 3 四半期における当社グループを取り巻く経営環境は、好調な企業業績を背景に設備投資や個人消費が増加し景気の回復基調が鮮明になりつつあるものの、公共投資は未だ減少傾向にあり、原油価格や市況商品の高止まりも依然として続いており、厳しい状況のまま推移いたしました。

このような環境の下、厳しい企業間競争の中、原材料コスト高を抑制する一方、総合リニューアル市場ではセラミック複合化による超低汚染・超耐久性を有する製品が販売拡大に寄与し、新築市場ではオリジナルの意匠性塗材や新工法が住宅の差別化商品として高い評価を受けました。更に、環境問題にも対応した様々な機能型製品の拡販を国内外各地で積極的に進めてまいりました。

この結果、主力の建築仕上塗材分野が好調に推移し、当第 3 四半期の連結売上高は 374 億 35 百万円（前年同期比 6.8% 増）となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象
記載すべき事項はありません。

3 . 平成 18 年 3 月期の連結業績予想（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

当第 3 四半期業績は、想定した範囲内にて推移しておりますので、平成 17 年 11 月 17 日付中間決算短信にて開示いたしました予想値に変更はございません。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上